

2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月4日

上場会社名 兼松株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8020 URL <https://www.kanematsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮部 佳也
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 藤井 励起 TEL 03-5440-8111
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）
(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	560,941	19.9	21,094	44.9	20,535	45.8	14,860	46.0	12,012	40.6	16,189	52.5
2021年3月期第3四半期	467,770	△11.9	14,556	△22.3	14,088	△21.1	10,179	△14.7	8,546	△9.2	10,615	△17.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	143.84	143.65
2021年3月期第3四半期	102.33	102.27

(注) 「営業利益」は、要約四半期連結損益計算書における「営業活動に係る利益」を示しております。

「基本的1株当たり四半期利益」および「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	609,505	189,409	151,816	24.9
2021年3月期	557,495	180,492	143,926	25.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2022年3月期	—	30.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2022年2月4日）に公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	750,000	15.5	30,000	26.9	30,000	27.2	16,000	20.2	191.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	84,500,202株	2021年3月期	84,500,202株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	984,630株	2021年3月期	988,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	83,513,854株	2021年3月期3Q	83,511,479株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～12月31日）の世界経済は、ワクチン接種の進展に伴う経済正常化を受けて急回復を遂げてきましたが、変異ウイルスの出現に加えて、サプライチェーン（供給網）の混乱やインフレの高進などにより、先行きの不透明感も生じてきています。

米国経済は、大型経済対策と経済正常化に伴う需要の急増により世界経済の回復を牽引してきましたが、変異株の拡大に加えて、労働市場のひっ迫や供給網の混乱などにより物価上昇に歯止めがかからず、金融政策も転換される方向であることから、景気の先行きについては注視も必要な状況です。欧州においても、経済の正常化が進められてきましたが、相次ぐ変異株の拡大によりワクチン未接種者を対象とした行動制限や地政学的緊張によるエネルギー価格の高騰などが回復の勢いを減速させてきました。

中国においては、電力供給の制限や不動産市場への規制に加え、「ゼロコロナ政策」による行動規制や都市封鎖が経済活動の足かせとなり、景気回復にブレーキがかかりつつあります。

日本経済は、度重なる緊急事態宣言とそれに伴う行動制限に加え、部品部材不足や原材料高も影響し、主要国経済の中では最も鈍い回復に留まっています。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

市況上昇を受けた畜産事業や食糧事業、原油価格上昇により原油・石油製品取引高が増加したエネルギー事業を中心にほぼすべての事業において増収となりました。官公庁向け契約の端境期となった航空宇宙事業や手数料収入が減少したモバイル事業では減益となった一方、増収の畜産事業やICTソリューション事業、エネルギー需要の回復を受けた鋼管事業で増益となりました。

その結果、収益は、前年同期比931億71百万円（19.9%）増加の5,609億41百万円となり、売上総利益も、前年同期比98億10百万円（13.7%）増加の814億91百万円となりました。営業活動に係る利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが売上総利益などの増加により、前年同期比65億38百万円（44.9%）増加の210億94百万円となりました。また、営業活動に係る利益の増加などにより、税引前四半期利益は、前年同期比64億47百万円（45.8%）増加の205億35百万円となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比34億66百万円（40.6%）増加の120億12百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電子・デバイス

収益は電子機器・電子材料事業や半導体部品・製造装置事業の増収により前年同期比224億18百万円増加の1,798億38百万円、営業活動に係る利益はICTソリューション事業や半導体部品・製造装置事業の増益により14億73百万円増加の114億25百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4億59百万円減少の42億90百万円となりました。

② 食料

収益は畜産事業や食糧事業の増収により前年同期比291億41百万円増加の2,152億29百万円、営業活動に係る利益は畜産事業、食品事業の増益により25億41百万円増加の43億42百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は13億28百万円増加の31億円となりました。

③ 鉄鋼・素材・プラント

収益はエネルギー事業や鋼管事業の増収により前年同期比381億60百万円増加の1,047億75百万円、営業活動に係る利益は鋼管事業や工作機械・産業機械事業の増益により23億29百万円増加の30億94百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は17億31百万円増加の29億87百万円となりました。

④ 車両・航空

収益は車両・車載部品事業の増収により前年同期比15億13百万円増加の511億48百万円、営業活動に係る利益は航空宇宙事業の減益により1億92百万円減少の12億92百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は16百万円増加の10億5百万円となりました。

⑤ その他

収益は前年同期比19億38百万円増加の99億48百万円、営業活動に係る利益は3億51百万円増加の9億31百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1億91百万円増加の4億72百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比520億10百万円増加の6,095億5百万円となりました。

有利子負債については、短期借入金の増加などにより前連結会計年度末比217億49百万円増加の1,439億6百万円となりました。現預金を差し引いたネット有利子負債は、前連結会計年度末比144億49百万円増加の549億69百万円となりました。なお、有利子負債にはリース負債を含めておりません。

資本のうち、親会社の所有者に帰属する持分については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げなどにより、前連結会計年度末比78億90百万円増加の1,518億16百万円となりました。

その結果、親会社所有者帰属持分比率は24.9%、ネット有利子負債資本倍率（ネットDER）は0.4倍となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比71億3百万円増加の881億48百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、営業収入の積上げなどにより、90億58百万円の収入（前年同期は283億21百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社の取得や持分法適用会社への追加出資などの事業投資の実行により、103億41百万円の支出（前年同期は50億17百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金やリース負債の返済、配当金の支払いなどによる支出があった一方で、短期借入金の増加などにより、79億43百万円の収入（前年同期は287億59百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績および今後の見通しを踏まえ、2021年5月7日公表の連結業績予想から以下のとおり修正しました。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	700,000	28,000	28,000	15,000	179.62
今回発表予想 (B)	750,000	30,000	30,000	16,000	191.58
増減額 (B-A)	50,000	2,000	2,000	1,000	-
増減率 (%)	7.1%	7.1%	7.1%	6.7%	-
(ご参考) 前期実績	649,142	23,635	23,580	13,315	159.44

*将来情報に関するご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	81,045	88,148
営業債権及びその他の債権	207,285	233,576
棚卸資産	99,711	110,379
その他の金融資産	6,512	6,639
その他の流動資産	26,339	29,185
流動資産合計	420,894	467,929
非流動資産		
有形固定資産	42,246	42,739
のれん	10,296	10,479
無形資産	24,926	24,937
持分法で会計処理されている投資	11,869	14,860
営業債権及びその他の債権	1,280	1,242
その他の投資	33,536	34,748
その他の金融資産	7,079	7,222
繰延税金資産	2,318	1,815
その他の非流動資産	3,046	3,529
非流動資産合計	136,601	141,575
資産合計	557,495	609,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	182,980	207,545
社債及び借入金	57,723	86,254
リース負債	6,999	6,267
その他の金融負債	5,442	6,637
未払法人所得税	2,942	1,398
引当金	607	242
その他の流動負債	28,213	27,138
流動負債合計	284,909	335,485
非流動負債		
社債及び借入金	64,434	57,652
リース負債	10,328	10,281
その他の金融負債	1,807	1,617
退職給付に係る負債	6,517	6,698
引当金	1,944	1,934
繰延税金負債	5,527	5,186
その他の非流動負債	1,533	1,238
非流動負債合計	92,093	84,609
負債合計	377,003	420,095
資本		
資本金	27,781	27,781
資本剰余金	27,034	27,120
利益剰余金	78,070	85,275
自己株式	△1,311	△1,304
その他の資本の構成要素		
在外営業活動体の換算差額	1,633	3,024
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	10,163	9,826
キャッシュ・フロー・ヘッジ	554	91
その他の資本の構成要素合計	12,351	12,943
親会社の所有者に帰属する持分合計	143,926	151,816
非支配持分	36,566	37,593
資本合計	180,492	189,409
負債及び資本合計	557,495	609,505

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2020 年 4 月 1 日 至 2020 年 12 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2021 年 4 月 1 日 至 2021 年 12 月 31 日)
収益	467,770	560,941
原価	△396,088	△479,450
売上総利益	71,681	81,491
販売費及び一般管理費	△57,795	△62,692
その他の収益・費用		
固定資産除売却損益	△45	△66
固定資産減損損失	△18	△13
その他の収益	1,236	2,804
その他の費用	△502	△428
その他の収益・費用合計	670	2,296
営業活動に係る利益	14,556	21,094
金融収益		
受取利息	118	117
受取配当金	703	733
その他の金融収益	—	45
金融収益合計	821	896
金融費用		
支払利息	△1,431	△1,240
その他の金融費用	△238	△1,589
金融費用合計	△1,669	△2,829
持分法による投資損益	379	1,373
税引前四半期利益	14,088	20,535
法人所得税費用	△3,909	△5,674
四半期利益	10,179	14,860
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	8,546	12,012
非支配持分	1,632	2,847
計	10,179	14,860
親会社の所有者に帰属する 1 株当たり 四半期利益		
基本的 1 株当たり四半期利益 (円)	102.33	143.84
希薄化後 1 株当たり四半期利益 (円)	102.27	143.65

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期利益	10,179	14,860
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	2,339	55
確定給付制度の再測定	△2	△0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	4	7
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,341	62
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,350	1,481
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△335	△461
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△218	246
純損益にその後に振り替えられる可能性のある 項目合計	△1,905	1,266
税引後その他の包括利益	436	1,328
四半期包括利益	10,615	16,189
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	9,317	12,808
非支配持分	1,297	3,380
計	10,615	16,189

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日残高	27,781	26,957	69,540	△1,309	930	6,816
四半期利益			8,546			
その他の包括利益					△1,151	2,267
四半期包括利益	—	—	8,546	—	△1,151	2,267
配当金			△5,010			
非支配持分株主に対する配当金						
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分						
非支配持分株主との資本取引		△29				
株式報酬取引		30				
所有者との取引額合計	—	1	△5,010	△1	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△42			39
2020年12月31日残高	27,781	26,958	73,033	△1,310	△221	9,123

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	確定給付制度の再測定	その他の資本の構成要素計			
2020年4月1日残高	113	—	7,860	130,829	35,344	166,174
四半期利益			—	8,546	1,632	10,179
その他の包括利益	△340	△2	771	771	△335	436
四半期包括利益	△340	△2	771	9,317	1,297	10,615
配当金			—	△5,010		△5,010
非支配持分株主に対する配当金			—	—	△1,750	△1,750
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	—		—
非支配持分株主との資本取引			—	△29	△111	△140
株式報酬取引			—	30		30
所有者との取引額合計	—	—	—	△5,010	△1,861	△6,872
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		2	42	—		—
2020年12月31日残高	△227	—	8,674	135,136	34,780	169,917

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日残高	27,781	27,034	78,070	△1,311	1,633	10,163
四半期利益			12,012			
その他の包括利益					1,391	△132
四半期包括利益	—	—	12,012	—	1,391	△132
配当金			△5,010			
非支配持分株主に対する配当金						
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		0		8		
非支配持分株主との資本取引		12				
株式報酬取引		74				
所有者との取引額合計	—	86	△5,010	6	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			203			△204
2021年12月31日残高	27,781	27,120	85,275	△1,304	3,024	9,826

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	確定給付制度の再測定	その他の資本の構成要素計			
2021年4月1日残高	554	—	12,351	143,926	36,566	180,492
四半期利益			—	12,012	2,847	14,860
その他の包括利益	△462	△0	795	795	532	1,328
四半期包括利益	△462	△0	795	12,808	3,380	16,189
配当金			—	△5,010		△5,010
非支配持分株主に対する配当金			—	—	△2,337	△2,337
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	8		8
非支配持分株主との資本取引			—	12	△16	△3
株式報酬取引			—	74		74
所有者との取引額合計	—	—	—	△4,917	△2,353	△7,271
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		0	△203	—		—
2021年12月31日残高	91	—	12,943	151,816	37,593	189,409

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自2020年 4 月 1 日 至2020年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自2021年 4 月 1 日 至2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	10,179	14,860
減価償却費及び償却費	8,576	9,156
固定資産減損損失	18	13
金融収益及び金融費用	847	1,933
持分法による投資損益 (△は益)	△379	△1,373
固定資産除売却損益 (△は益)	45	66
法人所得税費用	3,909	5,674
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	14,544	△22,314
棚卸資産の増減 (△は増加)	△785	△8,777
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)	△1,891	19,181
退職給付に係る負債の増減 (△は減少)	△29	56
その他	△1,036	△3,815
小計	33,997	14,662
利息の受取額	181	126
配当金の受取額	1,209	1,280
利息の支払額	△1,358	△1,210
法人所得税の支払額	△5,708	△5,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,321	9,058
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,450	△2,598
有形固定資産の売却による収入	340	190
無形資産の取得による支出	△650	△547
その他の投資の取得による支出	△953	△5,763
その他の投資の売却による収入	95	1,728
子会社の取得による収支 (△は支出)	△97	△2,362
子会社の売却による収支 (△は支出)	—	12
事業譲受による支出	—	△688
貸付けによる支出	△317	△262
貸付金の回収による収入	256	245
その他	△241	△294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,017	△10,341
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金 (3ヵ月以内) の増減	△12,134	27,809
短期借入金 (3ヵ月超) による収入	527	500
短期借入金 (3ヵ月超) の返済による支出	△833	△456
長期借入れによる収入	3,390	5,685
長期借入金の返済による支出	△6,981	△12,154
社債の償還による支出	—	△114
配当金の支払額	△4,861	△4,880
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△179	—
非支配持分株主からの払込みによる収入	11	6
非支配持分株主への払戻しによる支出	—	△17
非支配持分株主に対する配当金の支払額	△1,814	△2,276
リース負債の返済による支出	△5,881	△6,151
その他	△2	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,759	7,943
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,455	6,660
現金及び現金同等物の期首残高	91,105	81,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	△402	442
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,246	88,148

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントの利益は、親会社の所有者に帰属する四半期利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は外部顧客との取引価格に準じて決定しております。

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	157,420	186,088	66,615	49,635	459,759	8,010	—	467,770
セグメント間収益	209	0	28	3	241	161	△403	—
収益合計	157,629	186,088	66,643	49,639	460,001	8,172	△403	467,770
営業活動に係る利益 または損失(△)	9,952	1,801	765	1,484	14,003	580	△27	14,556
セグメント利益または 損失(△)	4,749	1,772	1,256	989	8,767	281	△503	8,546

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失(△)の調整額△27百万円には、セグメント間取引消去△27百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失(△)の調整額△503百万円には、セグメント間取引消去△35百万円、各セグメントに配分していない全社費用△467百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	179,838	215,229	104,775	51,148	550,992	9,948	—	560,941
セグメント間収益	326	1	29	4	362	177	△540	—
収益合計	180,165	215,231	104,805	51,153	551,355	10,126	△540	560,941
営業活動に係る利益 または損失 (△)	11,425	4,342	3,094	1,292	20,154	931	8	21,094
セグメント利益または 損失 (△)	4,290	3,100	2,987	1,005	11,385	472	154	12,012

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失 (△) の調整額8百万円には、セグメント間取引消去8百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失 (△) の調整額154百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各セグメントに配分していない全社費用158百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2022年3月期 第3四半期 連結決算（補足説明資料）

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

<サマリー>

■ 前年同期比、増収増益。

◇収益	5,609 億円	19.9% 増収
◇営業活動に係る利益	211 億円	44.9% 増益
◇税引前四半期利益	205 億円	45.8% 増益
◇親会社所有者帰属四半期利益	120 億円	40.6% 増益

■ 通期見通しを上方修正（営業活動利益280億円→300億円、当期利益（親会社所有者帰属）150億円→160億円）。年間配当予想は65円に増配。

1. 損益の状況

(単位：億円)	2021/3月期	2022/3月期	前年同期比		2022/3月期	
	第3四半期	第3四半期	増減額	増減率	見通し	進捗率
収益	4,678	5,609	932	19.9%	7,500	74.8%
売上総利益	717	815	98	13.7%	-	-
販売費及び一般管理費	△ 578	△ 627	△ 49	-	-	-
その他の収益・費用	7	23	16	242.7%	-	-
営業活動に係る利益	146	211	65	44.9%	300	70.3%
利息収支	△ 13	△ 11	2	-	-	-
受取配当金	7	7	0	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 2	△ 15	△ 13	-	-	-
金融収益・費用	△ 8	△ 19	△ 11	-	-	-
持分法による投資損益	4	14	10	262.3%	-	-
税引前四半期利益	141	205	64	45.8%	300	68.5%
法人所得税費用	△ 39	△ 57	△ 18	-	-	-
四半期利益	102	149	47	46.0%	-	-
親会社所有者帰属四半期利益	85	120	35	40.6%	160	75.1%
1株当たり四半期利益 (円)	102.33	143.84	41.51	40.6%	191.58	75.1%

【収益】

すべてのセグメントにおいて前期比増加し、932億円の増収。

【営業活動に係る利益】

食料セグメント、鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に、65億円の増益。

【税引前四半期利益】

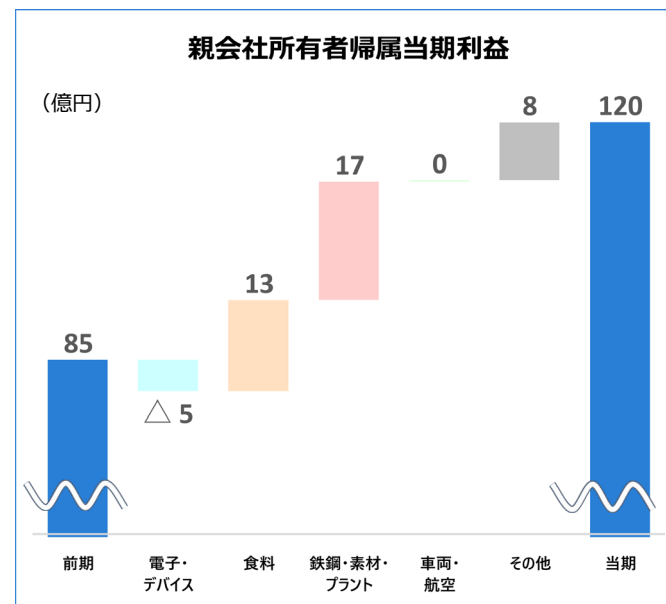
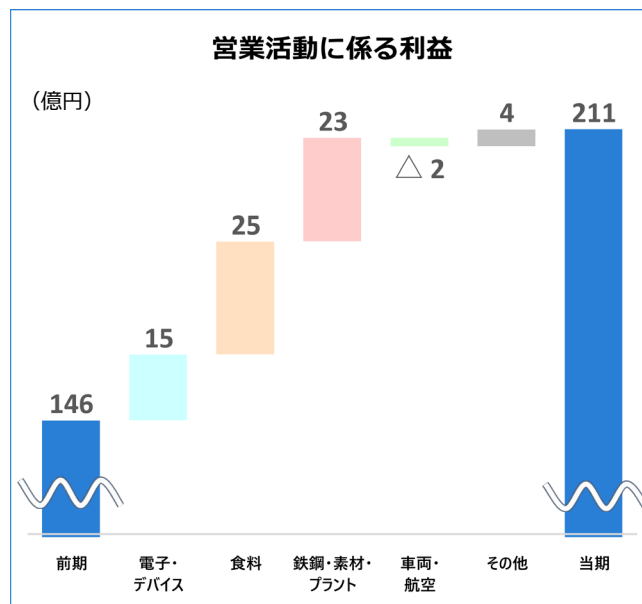
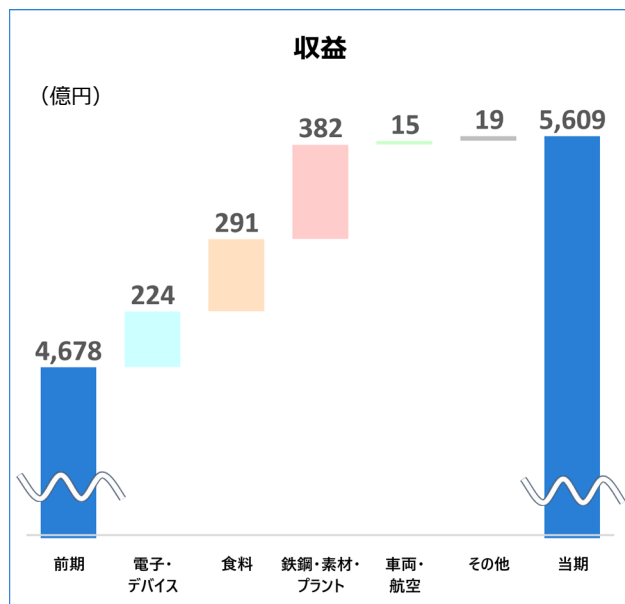
営業活動に係る利益の増加などにより、64億円の増益。

【親会社所有者帰属四半期利益】

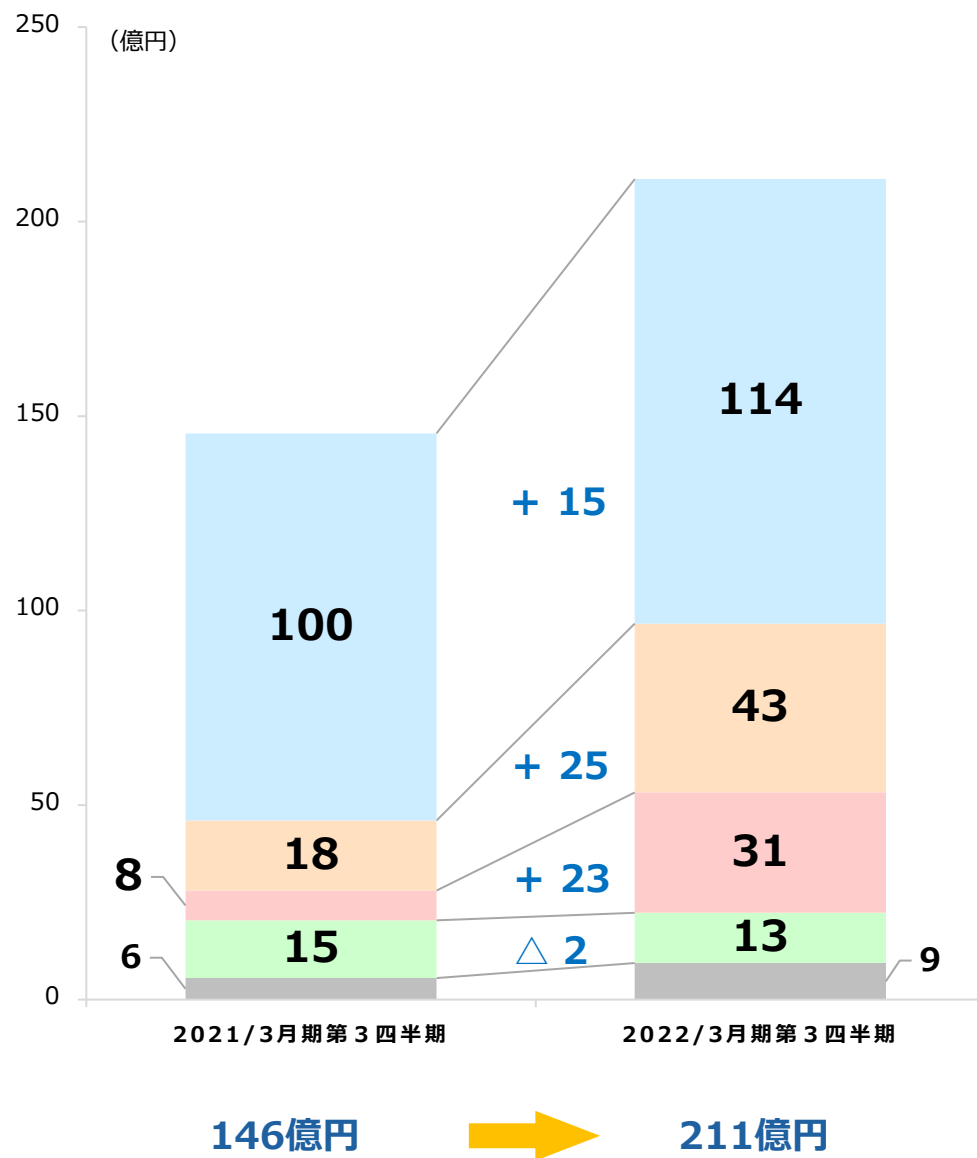
税引前四半期利益の増加に伴い、35億円の増益。

2. セグメント情報

(単位:億円)	収益					営業活動に係る利益					親会社所有者帰属当期利益				
	2021/3月期 第3四半期	2022/3月期 第3四半期	増減	2022/3月期		2021/3月期 第3四半期	2022/3月期 第3四半期	増減	2022/3月期		2021/3月期 第3四半期	2022/3月期 第3四半期	増減	2022/3月期	
				見通し	進捗率				見通し	進捗率				見通し	進捗率
電子・デバイス	1,574	1,798	224	2,500	72%	100	114	15	184	62%	47	43	△ 5	73	59%
食料	1,861	2,152	291	2,900	74%	18	43	25	48	91%	18	31	13	34	91%
鉄鋼・素材・プラント	666	1,048	382	1,300	81%	8	31	23	41	76%	13	30	17	37	81%
車両・航空	496	511	15	700	73%	15	13	△ 2	17	76%	10	10	0	13	77%
報告セグメント合計	4,598	5,510	912	7,400	75%	140	202	62	290	70%	88	114	26	157	73%
その他 (含む調整額)	80	99	19	100	100%	6	9	4	10	94%	△ 2	6	8	3	209%
総合計	4,678	5,609	932	7,500	75%	146	211	65	300	70%	85	120	35	160	75%



3. 営業活動に係る利益<セグメント別増減>



前期比増減要因

【電子・デバイス】 **15** 億円 増益

ICTソリューション事業は、ネットワークセキュリティ関連のほか、ストレージ関連案件の増加などもあり好調に推移。モバイル事業は、ショップへの来店者数は回復するものの、コロナ禍での店舗支援金など手数料収入が減少したため低調に推移。半導体部品・製造装置事業は、旺盛な需要を背景に車載向け半導体部品や半導体装置などの出荷が伸長し順調に推移。

【食料】 **25** 億円 増益

畜産事業は、需要の回復に加え畜産物全般の価格が大きく上昇し、外食関連販売で苦戦した昨年からの反動により大幅増益。食糧事業は、穀物・飼料価格上昇のもと堅調に推移。食品事業は、リテール市場向け商材の取引が伸長し順調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】 **23** 億円 増益

鋼管事業は、エネルギー需要の回復を受け堅調に推移。工作機械・産業機械事業は、新型コロナウイルスの影響を強く受けた前年同期の事業環境から回復し堅調に推移。一方、エネルギー事業は、デリバリーの進展で回復基調。

【車両・航空】 **2** 億円 減益

航空宇宙事業は、官公庁向け契約の端境期にあたり低調に推移。一方、車両・車載部品事業は、欧米含め取引先の生産が回復したことで車載部品取引が順調に推移。

4. キャッシュ・フローおよび財政状態

(単位：億円)	2021/3月期 第3四半期	2022/3月期 第3四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	283	91	△ 193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 50	△ 103	△ 53
フリーキャッシュ・フロー	233	△ 13	△ 246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 288	79	367

(IFRS第16号「リース」適用にともなう影響額)

営業活動によるキャッシュ・フロー	59	62	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 59	△ 62	△ 3

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業収入の積上げなどにより、91億円のキャッシュ・イン。
営業活動の回復・伸長や商品市況の上昇に伴い、運転資金が増加。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

子会社の取得や持分法適用会社への追加出資などの事業投資の実行により、103億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

長期借入金やリース負債の返済、配当金の支払いなどによる支出があった一方で、短期借入金の増加などにより、79億円のキャッシュ・イン。

(単位：億円)	2021/3末	2021/12末	増減
総資産	5,575	6,095	520
グロス有利子負債（注1）	1,222	1,439	217
ネット有利子負債	405	550	144
自己資本（注2）	1,439	1,518	79
内、利益剰余金	781	853	72
内、その他の資本の構成要素合計	124	129	6

(注1) グロス有利子負債は、リース負債を除いた社債及び借入金の合計額

(注2) 自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

【総資産】

営業活動の回復・伸長や商品市況の上昇に伴う営業債権及びその他の債権の増加などにより、520億円の増加。

【有利子負債】

短期借入金の増加などによりネット有利子負債は、144億円の増加。

【自己資本】

親会社所有者帰属四半期利益の積上げなどにより、79億円の増加。

自己資本比率は24.9%、ネットDERは0.4倍。

自己資本比率（注3）	25.8%	24.9%	△0.9%
ネットDER（注4）	0.3倍	0.4倍	+0.1pt

(注3) 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

(注4) ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

5. 株主還元・資本効率

【配当】

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期(予想)
年間配当額/株 (円)	48	60	60	60	65
連結配当性向	24.8%	30.3%	34.8%	37.6%	33.9%

【当期利益・ROE・ROIC】

